



もがみ仕事の魅力通信



2025
Vol.8
R7.10月

発行日：令和7年10月

【問い合わせ先】

山形県最上総合支庁
地域産業経済課 産業振興担当
☎ 0233-29-1309
ymogamisangyo@pref.yamagata.jp

サイトにアクセスすると最上地域の
企業やイベント情報等が確認できます



「もがみ仕事の魅力通信」とは、最上総合支庁と企業等が連携して行う最上地域の人材育成・地元定着に向けた取組みをお知らせする通信です。

高校生の進路選択 Good!

親が子どもにできること

新庄北・新庄南高等学校合同開催

10月9日、新庄北高等学校、新庄南高等学校の生徒及び保護者を対象に、進路セミナーを開催しました。

保護者向けセミナーでは、山形大学学士課程基盤教育院の松坂暢浩教授から、「高校卒業後の進路選択～親が子どもにできること～」と題し、若者が「なぜ働くのか」「何をしたいのか」を十分に考えないまま進路を選ぶ傾向があり、高校段階から働く意義を考える機会が重要であることなどについてお話いただきました。また、親ができることとして、寄り添う姿勢を持ち、情報を集め、最終的な決断を子どもに委ねることや、家庭では説教ではなく「傾聴」を心がけ、子どもの思いに耳を傾けることが何より大切だとアドバイスをいただきました。

(株)ケミトックス様、山形航空電子(株)様をゲストに迎えてのトークセッションでは、「理系に限らず、文系にしかできない仕事もある。文系出身者は、自分の強みを積極的にアピールすることが大切だ」「英語の資格があると有利」といった企業の生の声が聞かれました。

山形県産業労働部からは、「やまがた就職促進奨学金返還支援事業」について情報提供がありました。



生徒のための進路講演会



◆進路選択において抱きやすい不安の背景には「**知らないことが多い**」ことがある。
まずは、職業や社会について知る機会を増やしてみよう！

◆やりたいことは「**知っていること**」の中からしか選べない。

◆人生や仕事を考える上で、
●「**人生の質**（生きがい）」
●「**仕事の質**（働きがい）」
●「**教養**（広さ・深さ）」の3つの視点を持つことが大切！

◆山形県には**魅力的な企業が多く**、その多くが『**B to B（企業間取引）**』の企業。そういう視点で企業情報を収集したらよい。

◆大学の研究課程で『**答えのない問題を考える**』こと、『**考える力**』が役に立つ。

OBゲスト
山形航空電子(株)
羽賀 和輝 氏

わすれずにねっ

子供と接する上で抑えておきたい3つの視点

- ✓寄り添ってあげる姿勢
教えることも大切ですが、気づかせることも重要
- ✓情報収集の重要性
親も過去の情報にとらわれず、視野を広げることが必要
- ✓最後は自分で決めさせる
子供の親離れ・親の子離れにより、子供の自立を促す



山形大学
松坂暢浩 教授

保護者向け 進路セミナー



(株)ケミトックス
田宮 裕太郎 氏

山形航空電子(株)
総務部長
高橋 秀哉 氏

山形航空電子(株)
総務部長
高橋 秀哉 氏

★企業ゲストの皆さん★
「協力ありがとうございました」

参加者の感想

- 何から子どもに教えてあげたらいいか、全くわからなかったので、**資料を基に始めてみよう**と思う。
- 市内、管内の**就職先の情報をもっと調べる必要がある**と感じた。
- とても集中して話を聞いた。**講師の方の話が分かりやすく参考になった**。
- 理系、文系の選択で**子供に助言ができそう**。
- 色々な**企業を具体的に見てみたい**と思った。
- 英語をしっかりと勉強させたいと改めて思った**。
- 知らなかった情報（企業の魅力など）を得ることができた**。
- 「自分の好きにしていいいよ」が本人にとっては、負担・不安にさせてしまっていたと反省した。
- 情報収集をどうしたらよいのかを教えていただき、子どもに早速教えたいと思った。地元に住んでいても**優良企業は知らなかった**ので、**もっとたくさんの人に知ってもらいたい**。
- 地域企業2社の方の話がとても参考になった。**人材育成に力を入れていることが分かった**。

< 情報提供 >

「やまがた就職促進奨学金返還支援事業について」

山形県産業労働部産業創造振興課 主事 清野 佳香 氏
山形県の将来の担い手となる若者の県内回帰・定着を促進するために、奨学金の貸与を受ける大学生等やUターンを希望する社会人の方が、県内に定住・就業した場合に奨学金の返還を支援します。

※詳しくは、県ホームページまたは、上記サイト(くらしとごと)をご覧ください。





オールもがみ

地域へ
選ばれる
若者から

若者定着・人材確保推進会議

9

月17日、オールもがみ若者定着・人材確保推進会議を開催しました。最上地域の経済界や教育関係者、行政機関など58名の方に参加いただきました。会議では、齋藤最上総合支庁長が最上管内における令和6年度新規高卒者の求人倍率が5倍を超える高い状況であることに触れ、引き続き、新規高卒者の県内就職に向けた取り組みを地域一丸となって取り組んでいくことや若者定着を進めるためには、企業による人材確保の工夫だけでなく、生徒に対する地域・学校の働きかけの姿勢、そして保護者の理解や子どもへの伝え方も大切であり、関係者同士が視点を共有することが必要であると挨拶がありました。

事務局からは、「もがみ仕事の魅力通信」の紹介をはじめ「オールもがみ」の主な取り組みなどの報告・情報共有がされました。

講演を始める前に、配布資料を基に参加者同士で意見交換を行ったことで、前向きな気持ちにつながったり、理解が深まる様子が伺えました。

講演

山形大学松坂教授からは、「学生・生徒に対して地域・学校・保護者から伝えてほしいこと」と題して講演いただき、大学生の就職意識調査の結果を基に「どのような情報を伝えるか」「どのような関わりが必要か」等のお話を頂きました。

「働きやすさ」をしっかり示すことの重要性を感じています。具体的に伝えていくことが選ばれる大きな要素になっており、休日の取りやすさや福利厚生、職場環境の整備など、アピールできます。

「現場での仕事の様子」「福利厚生や制度の紹介」「オフィスの様子」「社員インタビュー」等の動画コンテンツは有効です。



山形大学
松坂暢浩 教授



～今後の取り組みかた～

- 1、子どもの**成長段階**に応じた**関わり方**を工夫する
- 2、地域での暮らしや働くことの**情報**を早い**段階**から届ける
- 3、**ホームページ**（採用ページ）や採用**動画**、**インターンシップ**の情報提供

鼎談

ご協力くださった方々 ありがとうございます！

◆若い人に就職してもらうための魅力ある職場づくりについて



㈱山形メタル
総務部次長 松田清隆氏

やはり、学生にとって、休暇日数や福利厚生、給与といった条件は重要です。地域内である程度優位な条件を提示できるように、企業として努力しています。基盤となる事業を拡大し、売り上げを伸ばすことで財務体質を強化するなど、企業の基盤をしっかりとさせることが重要だと考えます。インターンシップ（職場体験）でも、実際の業務に近い体験をしてもらうようにしています。

➡ **職場を知る機会を設け、入社後のミスマッチを減らす工夫**をされているということですね！

◆保護者の立場から



「もがみ仕事の魅力通信」を見て様々な取り組みをしていることに驚きました。子ども同士では情報提供があるかもしれませんが、保護者としてこうした取り組みの内容をあまり知ることができていませんでした。

地域にどんな企業があるのかという情報は、非常に大切だと感じました。地域には情報を知らない保護者の方も多いと思うので、子どもだけでなく保護者にも情報を届ける工夫を進めていくことが大切だと感じます。



新庄神室産業高等学校
真室川校
PTA会長 栗田香澄氏

➡ ありがとうございます！この「もがみ仕事の魅力通信」をはじめ、県でも**様々な情報発信しております**ので、ぜひご覧ください。

◆教育現場での取り組みについて



新庄神室産業高等学校
教頭 中里秀樹氏

職業高校の生徒は明確な目的を持って入学してくるのだろうと考えていたが、実際はそうではない生徒も少なからず見られました。「総合的な探究の時間」というカリキュラムで自分自身を研究したり、グループ学習を行ったりしています。具体的に就職先や進学先を考える段階に入る前に、様々な方々から刺激を受けることが重要だと感じています。初期段階から企業の皆様にご協力いただくことで、生徒にとって有意義な経験になるのではないかと考えています。

➡ キャリア教育の観点では、これは「自己探索」「キャリアと環境の理解」、つまり**自己理解**と**社会理解**に当たります。

最上地域では、市町村、商工団体、企業、教育機関、総合支庁等が連携し、オールもがみの体制で子どもたちの成長段階に応じた各種事業を実施。最上地域の企業情報や魅力を伝えるとともに子どもたちの「最上地域で働くこと」に対するポジティブな職業観の情勢に向け、取り組んでいます。

